



課長	課長補佐	係長	係員
			

西巻

大震災義援金
 「青森の友達」
 支援へ113万円
 つがる市と姉妹
 都市の米バス市

東日本大震災の被災地復興に役立ててほしいと、つがる市と姉妹都市締結している



義援金の募金イベントとして、バス市で行われたチェスボロースイム(つがる市提供)

米国メイン州バス市のバス市つがる市姉妹都市プログラムが、義援金約113万円を県災害対策本部に送った。

つがる市とバス市は1889年、旧車力村沖で座礁したバス市の貨物船チェスボロ1号の乗組員を救助したのをきっかけに、旧車力

村時代から継続して姉妹都市交流を続けている。現在はチェスボロカップ水泳駅伝や、訪問団の相互派遣などの交流を行っている。

現地では日本からの訪問団の受け入れや日程調整などを行っている同プログラムは今回、義援金募金イベントとして、チェスボロースイムやオークションを主催。その結果、義援金約72万円が集まったほか、バス市民や各団体から約41万円が寄せられ、6月17日に送金した。

同プログラムのデボラ・パテン会長は「3月11日の東日本大震災のひびきを知り、日本人の友達を助きたい気持ちでいっぱいでした。バス市民から青森県の友達への義援金は、復興に役立ててもらえればと思っております(一部抜粋)」とメールで温かいメッセージを寄せた。

(山本恵子)

H23.7.13 陸奥新報